夕刊

十月五日發行

随筆 十七屋

エス・ケイ生

上

江戸時代の川柳に

十七屋日本のうちはあいといひ

といふのがある。十七屋といふのは十七夜の月即ち立待月（忽ち着く）といふ江戸ッ兒らしい洒落から言ひ慣されたもので、この川柳を通し當時の交通機關としての飛脚屋が如何に文化的な役割をもつてゐたかゞ窺へる。

解釋をする迄もなく何處かへどんな書状や荷物の依頼が有つても即座にあいと立つといふ飛脚屋の迅速を稱讃したものである。この外にも飛脚屋を詠んだ句に

はやり風邪十七屋から引き初め

といふのが有り日本全國を股に掛けて飛び歩いてゐる商賣だから流行風邪なども眞先に背負ふ、詰り十七屋が當時の社會に、最も重要な交通機關としての使命を持つてゐたかゞ想像されやう。

ところでこの風の如く迅速なる飛脚屋の速度なるものを見ると大體一日八里內外を普通としてゐたのだから今日の吾々から見ると「日本のうちはあいといひ」なんて正に憤飯ものだがこの頃としては豪勢な脚の速さであつた。彼の淺野長矩公の悲報は江戸から赤穂まで三日半で着いたといふのも今に語り草になつてゐるが之は人の足ではなくて馬の乘繼ぎだつたが兎も角今日で言へば正に電報の迅さに匹敵するだらう。脚の方の最高記録では不及流の歩術家某といふ者と岡伯敬が明和何年か、試みた歩術競爭で江戸から宇都宮まで四十一里を朝、發つて翌刻江戸に歸つたといふ逞ましいのがあり、京から伊勢迄驛路三十六里を一日馳せたなども文献に見えてゐるが先づ一般には日七八里、東海道なら八日かゝるが通例とされてゐた。

10月5日

△多田滿仲歿す（長德三）△マーシャル群島降伏（大正三）△伊軍アドワを占領す（昭和一〇）

10月7日

△狩野探幽歿す（延寶二）△ガンベッタ巴里脫出（一八七〇）

○

親切は穀粒の如く、蒔けばます〳〵殖ゆ

英國俚諺

連續講談 異說赤穗浪士

別題「異說赤穗義士」「赤穗誠忠錄」

［25］

桃川若燕 講
城木喬 畫

軍用金配分

これを見ると短氣者の武林唯七血相變へて、ツカ〳〵と大野の側へ寄つて

「元老、最善より承はつて居れば御城代は小身者に情をかけて頭割りと仰せらるゝを、貴公一人高割と主張さるゝは何と云ふことである。最前は何と云はれた、二萬三萬の同勢を引受け城を枕に快く戰死を致すと云はれたではないか、討死する身に何でそんな金が要る。口先ばかり大言を吐き居つて其の實配當の金子を掴んで逃げる了見であらう。それ程金が欲しくば十三萬の金子を己れ一人で背負つて行つたらどうだ。それだけの勇氣がなくば御城代に任せろ……今一言高割と申して見ろ、貴樣の頭を打ち碎いてしまふから……」

武林がカン〳〵になつて勢ひ込んで行くのを內藏之助が制し

「アイヤ竹林、內匠頭家來は大變、臨んで度を失ひ、重役に對して無禮を働いたと云はれては、冷光院樣に對して相濟まぬであらう、愼んだが良い」

「イヤ何うも竹林は亂暴だ斯樣な場合腕力を用ゆるなど、飛んでもない話だ、ところで大石氏、誰れが何んと云はうとも拙者　頭割は不承知だ高割々々」

大野は尙も執拗に高割を主張するのを、側にゐた奧野將監か──この人物は思慮深い人で後年大石の意見をついで萬一仕損じた時は二の矢を放たうと云ふ人、將監が大野に向つて

「元老、それでは論が盡きません御城代は飽まで頭割と仰せられゝば何處まで言つても同じ事依つて拙者仲裁說を持ち出し杉なり配當と致されては如何でござる然して其許はお高頭だから其の一番上をお取りあれ御城代は二番目をお取りなすつたら如何でござらう──」

「その杉なり配當と云ふのはどう云ふの…でござるか……」

な」

「されば先づ金を米として……」

「成程」

「俵の數として積んでその一番上の方を大野殿がお取りなさる」

「前例どう云ふ風に積むのでござるか」

「十三萬兩の金子を米俵として十三萬俵あるとする、これを富士の山のやうに下を大きく上一番が小さく杉なりに積んでいつて一番上の一俵をお身が取られる」

「それは怪しからん、杉なり配當は絶對反對だ、某が一俵しか取れんなど飛んでもない、矢張り高割に限る」

大石はその樣子を笑みを浮んで見てゐたが、

「──のう大野氏、一座の者も頭割りと云ふがどうでござらう、頭割りに御同意下さるまいか」

「ウーム揃ろない、然う各々が頭割と云はれるなら致方ない、どうでも御自由になされ」

そこで四人のお金奉行は助役六人都合十人で用意の帳簿を控へて人數を調べる岡島八十衛門が先づ第一に大石內藏之助の前へ帳面を持參して、

「エ、御城代より帳面へ記します」

「拙者と伜主税だけで宜しい」

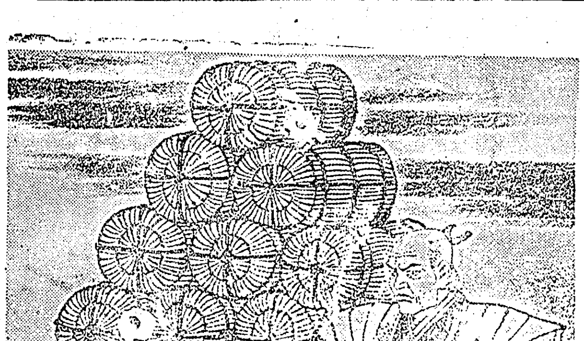
「御兩人だけで宜しうござるか、外にまだお子樣が」

「イヤ〳〵 れ、取るに足らぬ故二人だけでよろしい」

次に大野九郎兵衛の前に來て、

「元老お名前を認めませい」

「ア、間違ひのないやう書きなさい、拙者には──エ…と、拙者と伜軍右衛門、次男長右衛門、拙者妻一人軍右衛門妻、長右衛門妻軍右衛門の子供、六人女三人長右門男子二人、女子が二人下男が十人、下女が……」



麥笛吟社

礒井潮風

○名月や垣にざわめく礒山の子等

深淵

○名月や大きく浪のうねり來る

鈴木素舟

○名月や病舍の吾子の笑ひ顔

小沼諸山

○停電やしばしちゝろに耳を籍す

高木撫山

○名月や風移りゆく草の原

○秋袷のよごれて淋し蚊帳め果

○吾が畑に採れて無月の供へ物

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨時
平市南町（電五五五番）
醫學博士 酒井保

大和田醫院
平市南町
電話一七〇

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
秤ノ取締 竪糸。錘 諸般シマス。
關內藥局 電話四〇番

故障の起らぬ 原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

產婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
見習看護婦入用

◇和文 歐文 タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
森藤
電話三七〇〇 振替仙臺五一番
〔森藤事務用器商會〕

開院
外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一二九番

靈効散
胃腸藥 を御試し下さい
或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキヽメの早い
胃腸病。心臓病。腦。痔。適應藥
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山ありますご御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
總發賣調劑所 河康藥局
定價 一 五十錢 八日分 一 壹圓 廿日分
電話 四四番 振替口座東京三〇〇六五番
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

㊢中等學校制服……大特賣
高島屋の洋服
男女學生服 新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

喫茶。食事。
酒場を兼ねた
レストラン サロン
平市銀座街
電話五九二
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時限り

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御敎授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

內臟外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
◎入院隨時
醫學博士 北川芳夫
平市新川町（電四六四番）

國はニッポン魚は凍魚
日本水產特約
卸小賣 平製氷會社
タヒ 甘鯛
エビ マナ鰹
白魚 帆立貝柱
冷カヅノコ ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
代理店 四丁目 ト印魚問屋 電話二〇八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致シマス。

開業
內臟外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
入院隨時
醫學博士 內木宗八

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
㊫マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町一二

新秋の[illegible]覽
とんかつ專門の店
興亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

二回共市上空素通り
依然一彈の投下無く 前後五日の演習終る

去る一日開始以來寸分弛みなき態勢を續けて來た防空訓練最終の今五日は早天六時爆音逼げく敵機の飛來を序奏として其の幕を切つた、警報に奮ひ起つた防護部隊が極度に張り切つてる裡を機は機影を認み難い高度を保つて南方の雲井遠く幽かな爆音を消して小一時間海岸線を南下し來つた機は之亦音許りで姿を見せぬ高度で南方へ素通りして要時、第一次の解除は發令されて九時十分三たび空襲警戒警報あつたが之には飛行機の飛來なく之亦九時十分解除、四たび待機の態勢に入り爾後兩三回の警報、解除を繰り返し午後零時十分の訓練警戒警報解除を最終として玆に滯りなく前後五日の訓練を了つた

強い市民の結束
今次防空訓練を顧みて 青沼市長談

前回（本年七月）の訓練に「甲の上」として超滿點の光榮ある評價を受けた平市は當時更に防空上今後一段の向上飛躍を期すべく新な出發點を示唆されたのであつた。訓練の形式機構を與にして居る今回の成績は果してどうか、一に當路の公正なる講評に俟たねばならぬが、今回も亦一朝緊迫した場面に逢着したお互市民の結束力が膠の如く離れ難い強味あるを再認識することが出來漫ろに顧みて會心の微笑なきを得ない。然り今次演習に現れた水も洩らさぬ市民の結束を以てすれば當面の國民的實踐事項たる節米も貯蓄奬勵もいま目の前にブラ下つて居る隣組の機能發揮も大ていの事は易々として爲し遂げられると思ふ。

聖戰四年前途測り知れぬ長期建設の大試練に當面して國民の協戮を必要とするもの多々倍々加はるの時、お互の自覺と指導階層の奮起と相呼應して國力推進の一翼たるべきは昨今の時局に處して寸時も念頭を去つてはならぬ處でその心構への一發露を既往五日の防空訓練の上に我が市民から看て取ることの出來たのは欣快至極である

訓練講評は十一日

防空訓練の講評は十一日（昨報十四日は誤り）午後一時から市公會堂で渡部平署長により行はれるが參集者は警防團、自衛團、家庭防空群など演習參加の代表者である

清潔法一部變更 九日行ふ筈であつた市內東部の清潔は都合で十一日に延期

木炭組合總會延期 七日開く筈であつた濱三郡木炭同業組合の木炭配給統制規則改正に伴ふ取扱ひ方の臨時總會は十日に延期、前日九日評議員會を開く筈

光榮の拜受者
日赤社員章御親授式

日本赤十字社有功章並に特別社員章御親授式は八日東京市赤坂區青山權田原町恩賜記念館式場に於て總裁閑院宮殿下台臨御親授あらせらるゝが地方關係の拜授者左の如し

△平　三井富吉　田邊忠造　山野邊陽、吉田啓助、坂本直吉　鈴木定藏、山木昇、星野久八、井尻雅圀　小野清太郎、小野榮一、橋本義司

△石城　大內一美、鈴木金三郎、新妻稔、鯨岡潔、比佐賢司、鈴木康一、仲里顯太郎、村上泰、田口佐平、渡邊證五郎、市川忠八、三島五一郎、高萩民雄、長瀬識、鈴木聰次郎、新妻長藏、近藤吉松、佐藤雅太郎、太眞藏、木田綾江、西山惠一、大森又平、鈴木彌七、出又小次郎、古內源喜、大平菊次郎、阿部富士郎、桑谷信雄、高萩平太

愛婦にも光榮の人々

愛國婦人會の有功章御親授式は七日午前九時東京市九段下軍人會館に總裁東伏見宮大妃殿下台臨の下に御親授あらせられるがこの光榮に浴する地方關係者は

△特別有功章　平市青沼鈴太郎、久野ひさ△一等有功附加章平市高橋まさ、阿部コト、滑野キヨ△一等有功章　平市大和田コト、山崎菊子、桑原ナカ、吉田よね、円傳登美乃、正木包子、松本充弘、鈴木允、湯本町植ロリウ△二等有功附加章　平市菊地秀子、大津賀うた、遠藤トリ、志賀キエ、獅井ヒサ、騰崎千代、萩原たけの、大河原きよ、騰內品子、伊藤ヤス子、內鄕村沼田ひとし、江名町鈴木ミワ△二等有功章　平市酒井サイ、田中ハナ、柏原キチ、鷺ナエ、岡田仙子、松岡マツ、吉田美代子、篠山シヅ、永山貞子、酒井トミ、伊藤秀吉、中村サヨ、高久村本島武、江名町作山タミ、振旗キク、中山ヤス、佐藤ウン、湯本町高萩タマ△三等有功附加章　平市橋本トヨ、吉田エン、安齋ヨネ、青沼トモ、高久秀、百澤ユウ、佐藤ヨシイ、內藤錦子、小野テイ、松本ミヲ、長谷川ミヨノ、西野源次郎、根本フミ、湯本町若松かん、後藤つね、井坂つね、君松シロ、內山吉五郎、吉田キミ、勿來町渡邊たま、高久村矢吹サト、江名町田村キエ、加藤つる、佐藤さだ、増子好子、吉田よね、小名濱町水野きよし、小島さだ、丹たけ、水野まく、永戸村荻野倉太、內鄕村佐藤とし、佐藤とみ

青沼市長光榮の參列
十一日橫濱沖の觀艦式へ

來る十一日橫濱沖に於て御擧行あらせられる紀元二千六百年特別觀艦式に畏り青沼平市長は參列艦への乘船を差許され及川海相より其旨通知あり十日出發の豫定であると、因に今回の記念觀艦式は去る十一年十月二十九日神戶沖で行はせられたの、橫濱沖では昭和八年以來の盛儀で、公式に制定せられてより十八回目の觀艦式、今上陛下の御親閱は御六回目にあらせらる

市の集り二つ 市方面委員會例會、軍人遺家族身上相談會は何れも二十八日開く

停止令の改正から 大小炭礦主に新負擔
來る廿日適正賃金決定

九・一八賃金ストップ令が改正來る二十日適正賃金の決定に伴ひ炭坑賃金も或る程度の引上げは確定的で石炭礦業への影響重大なるに鑑み、當局では目下對策を研究中であるが低物價政策堅持の現下においてこゝ一二年間賃金引上げは礦主負擔に歸することは必至の傾向である、即ち石炭生產費の構成割合は勞賃が五、六割を占め勞賃の引上げは直ちに炭價に重大影響を持つが賃金引上げに基く生產費高を直ちに消費者轉嫁すなはち炭價を引上げることはこの際不可能でこれが對策としては礦主政府の何れかに於て負擔せねばならぬが賃金引上げ額を礦主負擔とすることは最近炭礦採算が著るしく惡化し日本石炭に買取補償金が交付されてゐる實狀において礦主側にとつては相當の痛手たることは免れないところであるが賃金引上げを政府が買取補償金の形で補償するごときは事實上實行不可能で結局は礦主負擔は免れないところである

經濟更生實行祈願
—あす赤井で社前に宣誓—

事變下の經濟更生に雄々しく立ち上つてゐる赤井村では夙に時局に即應する更生計劃を樹立し其筋へ認可申請中の處此程愈々認可の指令に接したので防空訓練明けの明六日を卜し午前十時から同村大字高萩地內鄕社諏訪神社に於て村民一同參集、之が實行祈願宣誓式を擧行すると

秋深み行く天津より
一ケ月間の街頭所感　千葉てる子

二、

驛前の廣場は平驛前の七八倍位廣いやうです　人が一杯でゴヤ〳〵です、そして魚のくさつゝ臭がして臭くて臭くて仕方がありませんでした。

宿舍につきました時は內地の方々のお心づくしの親切さで夕飯の用意からお風呂の用意まで出來てまして御親切の有難さ胸一杯になりました、御炊事用の方まで居いて一週間の生活十分出來るやうに凡て用意して下さいました時は淚が流れました。

和洋折衷のお室に感謝の中に落着きました。

第二日目から前後廿日間に亘つて（朝は六時に夜が明けます）

荷ほどきして整理すまして外へ見てますと支那人ばかりです。朝五時半頃のうす暗い中から人が通る。自動車、荷馬車ひつきりなしに忙がし〳〵　音は夜九時半頃までつゞきます。邊りは赤煉瓦造りの大きな建物ばかりで何となく恐ろしいやうな氣がして中々外出出來ません、どんな家でも普通民家は戶締りが嚴重で呼鈴が鳴らない中は門を明けません、私の只今の家の前は丁度四ツ角なので交通巡查が交代で日夜通して立つてゐます、直ぐ傍で廿二三才位の女が煙草店を出してゐますが朝三時半から夕方七時半まで番をして居る其精勤なのには感心します。煙草は內地とちがつて誰が買つてもよろしいでこの店でも自由にうつてます、二錢でも一錢でも賣ります往來を行來するクリーは二錢出して二本買つて一本はポケツトに入れ、あとの一本には先きに火がついてゐる長い線香のやうなものから火を着けてもらつて吸ひながら悠々と立去ります、それに赤いヅボンを穿た散髮の可愛らしい十二三才の少女が一錢で一本買つて煙を叶き〳〵步いていく姿は內地でなんか見られません。

強い國と云はれてゐる日本婦人が恐ろしくて外出出來ないなんて餘りにも氣が小さいと思つてそれにそろ〳〵品切れにもなつたし嚴重に戶締りして出かけました。倉造りのやうな大きな建物の中で店をはつてますから其倉の中へ入つていつて買つて來ますが日本語が上手な番頭さんがゐるので大變に便利です、第一印象として先づこゝで安心しました。

寄附 小名濱町下横町小野榮（二六）君は亡母の供養のため百圓を小名濱小學校へ△小名濱町議小濱長太郎氏は病氣の全快祝を廢して町銃後奉公會へ百五十圓を何れも寄附

出納檢査 市では來る二十五日出納檢査を行ふ

秋刀魚漁に暗影
軌道を外れた洄游狀態 生產側需要市場共惱む

本縣漁船の秋刀魚漁況は大体昨報の如くその第二航海船も三日江名濱盛厚丸（五〇噸）をトップにし、續々鹽釜港に入港水揚しつゝあるが今の處非常に不漁で、何れの船も惡く最高漁獲十五萬尾、最低七千尾、平均二萬尾の成績で、昨年同期の最高六十萬尾、最低（五萬尾に比較せば雲泥の違を見せてをり秋刀魚の前途に多大の不安を抱かせてる、この原因は氣候の變化に伴ふ魚群の散在であるとされ、昨報漁場が漸次接近し〻！は些か見當違ひ！く二航海においても仲々南下すべき秋刀魚が依然として南下せず、生產並に需要各市場共惱みの狀態を現出してゐる

日用品物價

市役所調查九月末現在の日用品物價左の如し

△白米一等一キロ三一錢△同二等三〇、五△同三等三〇△白麥二〇△平麥二五△味噌一貫匁一〇〇△醬油一升五〇△清酒二一〇△本炭俵丸一貫匁五△同二等四九、五△砂糖

拈華微笑

市民の防空訓練振りは一回より一回と鮮かに、時局柄必強い極みだ

□

一糸亂れぬ護空態勢に老市長の感激、三萬市民の慈父としても左ありなん

□

緊密な精神訓練と完全な物的施設と、講評の豫想に浮む微笑

□

鐵は最高熱のうちに打て此際一段新發足に拍車せよ

□

コスモスに赤蜻蛉群れて防空訓練あけの嬉しい明日曜、

お米の共精共販
遲くも來月實施か 語る組合長菅本さん
新體制を—

飯米の圓滑配給を期してゐる平米穀商組合では既報の如く縣案共同精麥所の新設及び共精共販開始等不足米補充の具體案を練りこれが準備打合せのため此程出縣一昨三日夜歸平した菅本組合長は語る

一日も早く共精共販事業による新陣容を整へ之から生ずる豊富な人手によつて現在需要者に不自由をおかけしてゐる配達などを敏速におつとめ致したいと考へてゐる、大ていくも來月頃から實施出來やうと思ふが配給所の數などは未だ制らないなほこの計畫が實施されゝば現在のお米屋さんの大部分は歷報の如く『月給取り』となつて約五十圓見當の月收以外出資金に對する配當金がつくことになる

白百匁一八、五△同赤一六、八△同黑一一、八△豚肉上七五△同並六五△牛肉上一一〇△同並六〇

山閑小憩　珠雲　小野務平

林園累物入婚審
處々忿聲嬌可親
柳綠花紅雲還近
居然我是畵中人

平市慶弔錄

○出生　正內町一四遠藤男氏長男易賢君、大町一五大森信治氏長男貢一郎君

六日

【小名濱測候所觀測】

滿潮　前七、三五　後六、三〇
干潮　前〇、四五　後六、四五

七日

滿潮　前八、四五　後七、一〇
干潮　前一、二五　後一、四〇

舊九月六日　日曜　壬午　友引　收　星宿　新十月六日

▲一白　虛榮は前路に横はる邪慕のぞけて一途に進め▲二黑　波風なき樣に見へても油斷のならぬ日なり▲三碧　すきを見すればいうわくに乘せられ易し注意せよ▲四綠　貯實なれば午前より午後と次第次第發展す▲五黃　寒窓の如くならず從つて散財もともない易し▲六白　思はぬ所に手落の生ずることあり進むは凶▲七赤　其から共と妄居に走りて實益に遠ざかる日▲八白　發展を望むより平和を願ふべし失物も注意▲九紫　自ら率先して臨むときは圓滿の裏に發展す

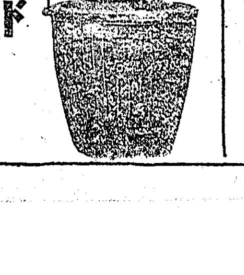
舊八月二十九日　月曜　癸未　先負　開　張宿　新九月三十日

▲一白　生節にへんする時は實益は其方力除となるべし▲二黑　功みなるよりつたなき方が未來の勝はあるべし▲三碧　高木には風多し見格救本に注意せらるべし▲四綠　感情の衝突を避け內外ともに親目たるべし▲五黃　多くの人を用ふるより一人を求入らずが利▲六白　けん爭と論爭とはすべての疑惑を美化し去るべし▲七赤　靜止の狀より活動に移り行く日努力すべし▲八白　ふさげはふさぐほどはん悶じうたいを生じ來る注意日▲九紫　武備通節を正すときは人皆な我に親むべし

天氣豫報
小名濱測候所發表

今晚　北の風晴
明日　北から南東の風晴時々曇

お醬油は……ヤマフル
壚屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
味噌　醬油　たひら正宗　鰹節　食品料
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。
實用案新　登錄第一八七四三〇號
意匠登錄　第六六一六七號
石山式


金物問屋　和洋銅物
平市五丁目
釜屋商店

看護婦さん募集
經驗の有無を問はず
優遇致します
耳鼻咽喉科專門　レントゲン科
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前電話三三六

音ガ生命
ビクターラヂオ
5R15　¥125
テレビアン
ナシヨナル
ビクター
代理店
富永ラヂオ店
〔電 四九六〕